



秋田県立
能代高校
東京同窓会

会報

No. 4
事務局
〒164
東京都中野区中央5-7-1
株友和
TEL.03-3383-2111



校歌

文学博士 藤村 作詩
東京音楽学校教授 岡野貞一作曲

一、そのかみはうか城濶く

尽きせぬ流氷米代の

水に我等の誓はしき

若き生命を讃へつつ

若き生命を讃へつつ

二、み空にひびく日本海

沖より寄す巨濤の

巖つんぞく勢に

強き力を学びつつ

強き力を学びつつ

三、平和の相樽子山

常盤の緑旭日に

映えて我等の麗はしき

清き操をたぐへつつ

清き操をたぐへつつ

四、薫し高き学び舎の

象徴をかかげひたすらに

学びの道に究めどや

奮へ松陵我が健児

奮へ松陵我が健児

能代高校東京同窓会のあゆみ

年度	総会	出席	案内状 発送	招待	あゆみ
32					後藤氏など有志の方々が、東京支部の形で活動始める
41					この年の総会がきっかけとなり、毎年総会を開催し、同窓生の親睦を図ろうと決定された
48					斬新なる理想に燃えた有志が、会の発展のため、テコ入れを始める
50					東京在住の同窓生は、卒業生のための宿泊所などを作らなければ、と革新的な意見が出る
51					○役員改選 ●名誉支部長腰山(前支部長) ●支部長板倉(前副支部長) ●副支部長塚本、柳谷 ○組織が固まる
52	10/ 8	71		4	
53	10/13	78	400		○会則一部改正 ○茗溪会館に感謝状贈呈
54	10/21	62	500		○名簿作成
55	9/27	56		4	○8月末現在、名簿登録者425名 能代高校東京同窓会と改称 ○役員改選 ●名誉会長腰山
56	10/ 3	85	445	5	●会長板倉 ●副会長後藤、吉田、河田、相沢、栗原、太田、高谷 ●会計幹事村井、八柳 ●事務局小林
57	10/ 2	93	467	7	
58	10/ 1	88	502	5	○名簿作成
59	10/ 6	76	565	5	
60	10/18	100	600	6	○役員改選
61	10/ 3	124	656	4	○山田敬三氏講演 ○能代北高、能代工高同窓生を来賓として招待
62	10/ 2		960		○役員改選 ○会報第1号発行
63	10/ 7	121		15	○斎藤忠生氏講演 ○名簿作成 ○会報第2号発行
平成 1	10/ 6	203	1,338	15	○役員改選 ○山田久志氏講演 ○会報第3号発行 ○同窓会より東京同窓会に同窓会会旗贈呈 ○茗溪会館に感謝状贈呈
2	10/ 5	151	1,272	11	
3	10/ 5				○東京同窓会10周年記念総会開催 ○会報第4号発行

国ざかり

旧制9期 元駐フィンランド大使

高橋 正太郎

無法なイラクのクウェート侵攻のかけにも、イランとの戦争で中東第一の軍事大国となつたイラクがペルシヤ湾への出口を必死に求めていること、イラクが諸外国に出遅れてクウェートの独立を認めた時にも、国境線の確定はなされておらず、また、その出口にあたるプビアン、ワルバの2島がその後も絶えず問題になっていたことが大きな尾を引いている。事態収拾にはこれらの取扱いが一番の決め手となるろう。

この半島に住むアラブの人たちも、もとはオアシスを求めて移動し種族やグループ毎にそれぞれ地に根をおろし国を興したのであるが、不思議なもので、何十年か経つうちに、それぞれの国の様子、人の体型から服装までお国振りが出てきて、暫く住んでいるうち我々外国人の目にも何国人かの大凡の見当がつくようになる。国という枠組みの中で醸し出される何物かが体に具現するのであるか。

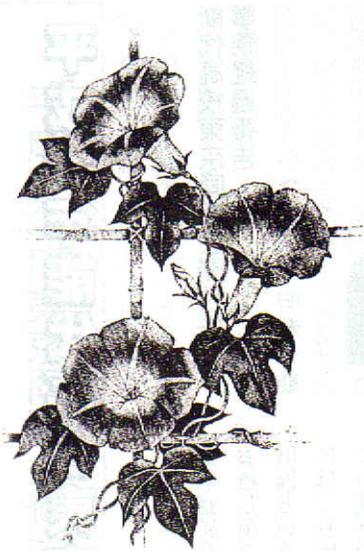
処で、我国はといえば、狭い島国の枠の内でも単一民族が大陸文化と泰西文明を吸収融合し、敗戦後も、立地と技術、教育と勤勉とを活かし日米安保体制庇護の下で今や世界の経済大国となつたが、何しろ陸続きの隣国を持たず膚で外国を感じることに少ない日本は、得々として自国内の平和と安逸を貪り、内に籠もつて事すべて安易に流れる傾向にある。

今更引越す訳にも行かぬ日本としては、国民の一人一人がこの際島国の枠をとつばらう位の心構えで対処するしか活きる路はないのではなからうか。それには、

- (一) 東西緊張緩和の中でも国の安全保障のために求められるものは何か。
- (二) 物は豊富になつた世の中で、心の豊かさ、ゆとりは何によって得られるか。
- (三) 口先ばかりの「国際化」ではなく、身を一旦国の外に置いてみて、日本はどうあるべきか、どうすべきか(市場、流通、農業、金融、労働等すべての分野で)。

を熟考し果敢に行動することが必要であろう。

注・本稿は、湾岸戦争勃発前の昨年十二月にご寄稿頂いたものです。



平成元年能代高校東京同窓会総会開催

10月5日 午後5時
於・茗溪会館

能代高校東京同窓会開会挨拶・
事務経過報告

小林肇氏 旧制19期



どうもみなさん、お晩です。ただ今、司会の方からお話がありました通り、板倉会長がめずらしく体調を崩されまして、本日は欠席とのこと

でございます。十月の総会は年一回のことでもあり、会長ご自身たいへん楽しみにしておられましたのですが、今回だけはどうにもならないというお話でした。はなはだ未熟でございませうが、会長に代わりまして一言ご挨拶させていただきます。

本日は、能代のほうから、神馬同窓会会長をはじめ、統教頭先生、佐藤

藤事務局長、能代市長の宮腰さんにお越し頂きました。また、私どもが恒例といたしております恩師ご招待には、長岡幸作先生と大高芳雄先生にお運び頂きました。お二人の先生のプロフィールは、先日みなさま方に発送しました案内に詳しくご紹介させてもらいました。後ほど先生方のお話を頂戴する際、それぞれ先生の在校時のご様子などを、思い浮かべられてはいかかかと存じます。さらに能代北高同窓会松蔭会の齊藤会長はじめ、幹部のみなさんにもご出席を頂いております。本場にありがとうございます。

板倉会長であれば、もう少し気のきいたご挨拶をさしあげるところですが、何分にも急の会長代行の大役で、少なからずまごついております。あしからずご了承のほどお願い申し上げます。

先日、能代市で行われた能代高校の65周年同窓会総会にお招きに預かり、出席させて頂きました。非常に盛大でしかもみなさまが和気あいな

い、さすが地元の同窓会総会と、深い感銘に打たれました。その席上でも神馬会長より、「同窓会のあり方」についてうかがい、いろいろ有益なアドバイスを頂戴しました。東京同窓会としては、むずかしい問題も多々ありますが、今後とも利害関係がないみなさま方のための会として、自由がねなくお集まり頂ける場所にするのが、私たちの使命かと存じます。

また、今後末永い発展継続のためにも、若い人たちにより多く集まって頂いて、新鮮な息吹を吹き込んで頂きたいと思っております。繰り返し申し上げますが、この会はいくらでも利害関係のない集いですので、特に同窓会の場を通じて、若い人に何をやってもらおうとか、何を期待するとかいうのではありません。ごく素直に自然に、年齢を越えた世代相互の交流が育まれることを期待するのであります。そのためにはどうするか。今後はやはり母校の方々、地元の同窓会とも連携を保ちながら、年々母

校を巣立ってくる若い世代との接触をより緊密にする方法を、みなさまともども考えて参りたいと思います。

えー、総会予定としましては、ここで野球解説者の山田久志さんの講演が始まるところでございますが、申し訳ありません。まちがいはなくお見えになるというお約束でしたが、ただ今入った連絡では、もう一つ片づけなければならぬ仕事が残っているとのことです。マスコミ関係のお仕事は予期せぬ突発事項が当たり前と考えて十分気をつけたつもりではございますが、このような結果を招きまして、誠に申し訳ありません。事務局長として深くお詫び申し上げます。

会長の欠席・講演者の延着と、いづれも万やむをえぬ事情ではございますが、よろしくご賢察の上、今後われわれの同窓会活動に、益々のご支援ご協力のほどお願いいたします。さて、引き続きまして、事務局からのお話をちよつと付け加えさせていただきます。現在の会員名簿には、約

千三百名……ええ、正確な実数は一千二百七十二名ですが、これだけの会員諸兄弟のお名前を記載させて頂いておられます。この度の総会開催に因りまして、名簿記載のすべての方にご通知いたしました。住所変更などで戻ってきたものが十二、三通です。ほとんどの方に正確な住所登録を頂いているものと考えてよろしいようです。

しかし、残念なことに、この千三百名の中から何らかのご連絡を頂けた方は、約四百八十名でございます。あの方からは全く音沙汰がございませんでした。たぶんお忙しいままに、つい失念されたものと思われませんが、この点に関しても、積極的なピー・アール活動の不足といえますが、事務局のいたらなさを痛感する次第でございます。

一昨年より私どもは総会の終了後に、総会の報告を兼ねて会員相互の連絡を図る手だての一つとして、会報を出しております。今年も会報を編集・作成する方々には、いろいろご苦勞をおかけすることになります。今日ご出席頂けなかった方々に

は、この会報を通じてせめての連携・連帯感を味わって頂ければありがたいと存じております。

以上をもちまして、事務局からのご報告・ご連絡とさせて頂きます。本日はお忙しいところ、本場にありありがとうございます。

このあと恒例の懇親会がございます。格別な準備もございませんが、十分に歓談され、旧交を暖めなおして頂いて、母校を中心とした話題に花を咲かせることで、ご馳走に代えさせて頂きたいと思っております。

会計報告

八柳昭義氏 新制8期

平成元年九月一日から平成二年八月三十一日までの、能代高校東京同窓会の収支決算報告をいたします。

会計報告(P.9 別表参照)

ただ今の報告に関して何かご異議があれば承ります。……満場の拍手をもちまして、会員各位のご承認を頂いたものとして会計報告を終わらせて頂きます。

来賓祝辞

能代高校同窓会会長

神馬恒成氏

旧制9期



相変わらず盛やかな東京同窓会の総会にお招き頂き、みなさまの変わらぬ友情の深さに感激いたしております。先ほど小林事務局長さんからもご紹介頂きましたが、母校は今年開校65周年にあたりまして、五月二五日の開校記念日に本部同窓会総会を開催いたしました。東京からは後藤先輩と小林事務局長に馳せ参じて頂きましたが、いまだかつてない盛会裡に総会を終了させることができましたことをお礼かたがたご報告申し上げます。

たいへんなご賛同を頂きまして、二百五十数万円にのぼるご支援を賜りました。このことに関してまず厚く御礼申し上げます。

あと5年で母校も70周年を迎えるわけですが、この記念事業として現在、独立図書館とそれに併設する同窓会会館の建設を、鋭意検討中でございます。その節もみなさまにはいろいろご迷惑をおかけすることになると存じますが、どうぞまた一つご協力のほどをお願いいたします。今年も今月(平成二年十月)の末から月の初めに、第二回目の会費の納入をお願いする予定ですので、昨年にもまさるご芳情を頂ければ幸せと思っております。

これまで能代高校の運営に関しまして、すべてPTAに「おんぶにだっこ」の状態で、同窓会はその後にくっついて何やらお茶を濁すありさまでございます。しかし、母校もすでに一万四千名を超す卒業生を世に送り出していることです。とすれば、その同窓会が中心となつて働かなければ、母校のより大きな発展はありえない。ということ、お一人

平成三年度東京同窓会総会のお知らせ

10月5日(土) PM 3:30 開催予定 於・茗溪会館

総会是一部二部三部と区切られておりますが、時間を気にせずお気軽にご出席下さい。

年々わずが二千円でございます。これを会費としてお願いすることにした次第です。

今年度からは会報も充実させまして、みなさま方の学校の現在の姿を紹介しながら、今後のご協力をお願いしたいと思っております。どうぞ母校の益々の発展のために、よりいっそうのご支援をお願いいたします。

以上お願いばかり述べさせて頂いて誠に恐縮ですが、東京同窓会の益々の発展と、本日のお総会が有意義でありますことをお祈り申し上げます。私のご挨拶に代えさせていただきます。本日は本当におめでとございます。

秋田県立能代高等学校教頭

続 隆先生



お手元に「学校概況」という学校からの印刷物をお持ち頂いているこ

とと思います。本年度は本校の65周年という節目にあたります。そこで、それを機にもう一度本校の建学の精神を考えてみようということから、あらためてこの印刷物をプリントいたしました。

その中の教育計画にあります「一 国文教ヲ以テ興リ、一 国文教ヲ以テ亡ブ（建学の精神）」これは大正12年、当時の能代町長が能代中学建設のために、時の県知事に提出した文面の冒頭の一節であります。その後「至誠力行」を校訓としました。

この四月、校長先生が全校生徒を体育館に集めまして、この二つを柱とする講話をすることで本年度をスタートいたしました。そのほか、教育目標・本年度目標などが重要課題とともに説明がございます。後ほどお読み頂ければと思います。

(P.27 学校概況参照)

さて、在校状況ですが、このところ年々女子生徒が増えて参りまして、本年度はついに百四名となりました。本日は松陰会の大幹部のみなさんもお見えですが、能代北高との共存共栄ということもございませう。まず何よりも優秀な男子生徒を集めて、女子はできれば二桁台に抑えたという気持ちですが、何分にも能

代高校には入れず、能代工業高校や商業高校に流れる男子生徒が少なくないというのが、残念な現状です。

また、大学への進学状況もぜひとも向上させなければなりません。現状維持は一步後退であるという認識のもとに、職員一同は一生懸命に努力をしております。いずれ、その成果が目に見える日も近いものと思っております。

今日はたまたま秋田同窓会もございまして、校長先生はそちらの方へ出向いております。代理を仰せつかりまして、私が東京同窓会に出席させていただきます。

いうまでもなく学校だけでできる範囲は限られております。同窓会、特に東京同窓会のよりいっそうのご支援をお願いいたしまして、簡単ではございますが私の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございます。

能代市長 宮腰 洋逸氏 新制5期

みなさん、お晩でございます。私は新制5期ですので、お集まりのみなさんの中では比較的若いほうになるのではないかと思います。先般八月二九日に市制50周年を記念いたし



まして、能代市出身者の集いを開催いたしました。大勢の方々において頂きまして、予想外の盛會裡に終えることができましたことを、厚く御礼申し上げます。

また、市制50周年ということで、さまざまな記念行事を展開しました。その一つとして、去る十月一日には市制施行記念式典を挙行し、市内パレードを行いました。我が同窓会の神馬会長は、医師会会長として地方医療に貢献されたということで、特別功労賞を受賞されております。そのほかたくさんの方のご功績・偉業をたたえながら、これを契機にこれまで幾多の災難・苦難を乗り越えてきた能代市民のエネルギーに期待し、今五十年目を踏み出し、百年目の大輪の花開く日の糧（かて）とすることを誓いました。そうしてこそよりいっそう住みよく豊かな能代を、われわれの子孫に受け継いでもらえ

るのだと、覚悟した次第でござい
ます。

おかげさまをもちまして、現在能
代市にもさまざまな事業が展開され
ております。私自身能代人として自
戒の意味も込めて申し上げるのです
が、何かをやる人、それを見る人、
そのことに意見を言う人、というい
ろありますが、それを総合的に捉え
てそのことに参加し、自分自らの役
割を大局的に展開する能代人は少な
いと言われてきました。しかし、少
なくとも現在の能代市に展開される
さまざまな事業につきましては、ど
の事業に関しましても、市民がそれ
ぞれの役割を十分に果たして、成功
に向かって立派に突き進んでいると
見ております。このような機運がよ
り高まってくれば、我が能代市の将
来にも益々明るい光が見えてくるこ
このように考えております。

海岸砂防林を「風の松原」と銘う
っていることはすでにお存知の方も
多いかと思いますが、この七日は「風
の松原フェスティバル」がございま
す。十月十一・十五日には「海の女
王」と呼ばれる帆船「日本丸」が入
港し、二六日から「産業フェア」、
十一月には東京交響楽団と中村絨子
さんの演奏会など、さまざま

な行事も控えております。どうかみ
なさんも、この時期に能代にお見え
になることがありましたら、ぜひ参
加して頂けましたらありがたいと思
います。



さらに、この二三日には東京の松
屋サロンで「大館・能代空港建設促
進」の中央決起集会が開かれます。

秋田県の東京事務所がある都道府県
会館のすぐそばです。これは県と地
政同盟会の共催でありまして、県知
事もおいでになってご挨拶する予定
です。それぞれの支部長さん、同窓

会会長さんにはすでにご案内のこと
と思えますが、能代市あるいは秋田
県内からたくさんの方がお見えにな
る予定ですので、ご都合のつけられ
る方はぜひご参加くださいますよう
お願いいたします。

いずれにしても、能代も今変
わりつつあります。落合の地には例
の組合病院の落成、神馬先生のご指
導のもとに医師会病院の建設、さら
には佐々木満先生のご尽力により旧
秋木機械の跡地に、民生病院の建設
着工間近に準備されております。こ
のようにして、能代市は能代・山本
はもちろん県北一帯の医療福祉の中
心都市として、成長の過程にありま
す。

われわれもこのように努力を続け
ておりますが、これからの市の発展
のためには、やはりみなさんのいろ
いろな形でのご支援、ご指導がなけ
ればなりません。どうか市の発展の
ための情報なりご指導なりとを賜り
ますよう、心からお願ひする次第で
ございます。

実は、ただ今同時刻にサンケイ会
館において能代工業高校同窓会の東
籓会が開かれております。これから
そちらにもお邪魔することになって
おります。最後までみなさまとお付

き合いです。誠に心苦し
い限りですが、あしからずご了承
ください。なお、二日後には能代北高
同窓会である松陰会が開かれますが、
先ほど申し上げました通り、風の松
原フェスティバルと重なっております
す。金田助役が参上いたしますが、
松陰会の幹部のみなさんもおいで
ですので、この席を借りまして私が上
京できないことを深くお詫びいたし
ます。

みなさまの今後の益々のご発展と
ご健勝をお祈り申し上げて、私のお
祝いの言葉とさせていただきます。本日
は本当におめでとうございませ

参議院議員 佐々木満氏 旧制15期
(現国務大臣・総務庁長官)



今年も盛大な同窓会として、ご同
慶にたえません。また、みなさま方
それぞれの分野でたいへんなご活躍

をなされ、ご健勝であることを心からお喜びいたします。

私、秋田におります時、能代高校へお邪魔をする度にありがたしいと思えますのは、たいへん立派な先生たちがいらつしやるということであります。この春も、校長先生、教頭先生を始め何人かの先生と親しく懇談させて頂きました。益々その感を深めた次第でございます。

私ぐらいの年になってはるかに人生を振り返ってみる時、一番ありがたいこと、貴いことは何だろうかと考えてみますと、結局二つのことに尽きるような気がいたします。一つは少年時代に本当に心底尊敬できる恩師に巡り会えたこと、もう一つはやはり少年時代に友情の厚い同級生に恵まれたこと、この二つだけだと思っております。

この二つが自分の人生の宝である、と、まあ、このように思っているわけですが、その点から申し上げますと、現在の能代高校の生徒さんは、立派な先生に恵まれているのです。「後はいいい友人を作るだけだよ」と、生徒さんたちにはいつもこう申し上げているのです。

先日、十月一日の市制50周年記念式典では、市長さんからお話があり

ましたように、神馬会長さんが表彰されました。そのほか、小野喬さん、鍋谷鉄巳さんなど、往年の世界的チャンピオンが表彰されました、たいへんうれしく思った次第です。母校出身の方々にはこのような立派な業績の方たちがおられると、あらためて顕彰して頂きますことは、母校発展のために何よりの起爆剤になろうかと思っております。

その小野喬さんは本日はお忙しいとのことで、お見えになっていないようですが、小野清子夫人も北京アジア大会の関係でお越しになれなかつたと思います。小野清子さんは選挙区が東京ですが、もともと秋田の方です。秋田の代表であると同時に、ご主人の関係からいって能代の代表者でもあると言えましょう。この会が無色透明、利害関係に左右されないことを看板にしていることは重々承知しております。その上で、はなはだ場違いでありまた不躰とは存じますが、小野清子さんへのみなさまのご支援を、よろしくお願いいたします。

たいへん勝手を申し上げましたが、みなさまのご健勝と母校の益々の発展をお祈り申し上げて、私の挨拶とさせて頂きます。

● 祝電 ●

ご盛会と心からお祝い申し上げます。日頃のご支援に感謝申し上げますとともに、みなさまの今後のご活躍、ご健勝と心よりお祈り申し上げます。

参議院議員 小野清子

秋田県立能代北高校同窓会 松陰会会長 齊藤 セツ氏



みなさん、今晚は。

毎年、私もこの会にお招きを頂いておりますが、今まで私たちの同窓会に、みなさまを一度もご招待したことがございません。私たちの総会は明後日の七日でございます。そこで、今年は今能代高校同窓会の方々にもぜひお見えくださるようにとお手紙をさしあげましたところ、さつ

そく3人の方がお運びくださるといふご返事を頂き、松陰会会員一同非常に喜んでおります。

先ほどからいろいろな方たちのお言葉にもありました通り、私どもの故郷能代を背負って立つのは、やはり能代高校の同窓生の方たちです。

宮腰市長さん、能代の医療界の責任者でもある神馬同窓会会長さんを始め、立派な肩書きと重い責任をおもちの方々、みなさま能代高校の出身者でいらつしやることに、私たちは安心感を感じるとともに、たいへんな誇りを感じるのでございます。

私ども北高は、女子の学校でございますから、同窓生が社会の第一線で活躍するチャンスは少のうございませぬが、能代高校同窓生の方の奥様には、我が北高出身者が少なくありません。そのようなご縁もございまして、同窓会同士も仲良く交流し続けられるのではないかと存じます。

能代高校が、今後益々彼の地の教育の中心となり、やがて社会の第一線の担い手となる若い芽を育む場所として大きく発展されますように、われわれ北高同窓会も及ばずながらバックアップを続けたいと思っております。本日は、お招き本当にありがとうございます。ございました。

東京同窓会事務局からのお知らせとお願い

能代高校東京同窓会と改称以来、今年で満十年を迎えようとしております。その間、当会も年々隆盛の一途を辿ってきましたことは、ひとえに会員のみなさんのご協力の賜と感謝しております。さて、当会の運営に当たって、事務局は東京同窓会を盛り上げると同時に会員のみなさんのご負担はなるべく軽減する方向へと努力して参りました。しかし、何分にも会の増大とともに諸経費もまた嵩む一方です。

そこで、特に下記の事項をお知らせかたがた、ご協力をお願いいたします。

—記—

① 年会費について

本年度より年会費として3,000円のご協力をお願いいたします。

② 10周年記念総会開催について

場所……茗溪会館

日時……平成3年10月5日(土)、時刻は例年(5時)より少し早くなる予定。

③ 10周年記念総会の内容について

例年の内容に加えて、本年度は関東在住の能代高校新卒生の歓迎・激励会を兼ねて行います。

④ アトラクション企画について

チューリップのメンバーである宮城伸一郎さん(新制26期)、元オフコースのメンバーである松尾和彦さん(新制25期)、そのほか郷土芸能などに出演を交渉中です。

能代高校東京同窓会・収支決算報告

自平成元年9月1日～至平成2年8月31日

収 入		支 出	
前 期 繰 越 分	1,674,488	総 会 会 場 費 支 払	872,462
寄 付 金	472,000	総 会 諸 経 費	280,325
総 会 会 費	903,000	印 刷 ・ 広 告 費	1,027,208
普 通 預 金 利 息	8,941	事 務 経 費	91,980
名 簿 売 上	38,500	郵 送 料	297,204
恩 師 招 待 寄 金	216,000	次 期 繰 越 金	736,190
合 計	3,312,949	合 計	3,312,949

上記の通り相違なき事を報告申し上げます。

平成2年9月21日

会計監査幹事

八柳昭義

アンケート集計結果

昨年初めにご協力頂いたアンケートの集計結果は以下の通りでした。

平成2年3月23日 送付

発送数 1,000通

回答数 107通

I 開催日程について(10月第一金曜日)

●開催日程の変更(37名)の内訳

現状のままでよい 63.5%

変更したほうがよい 36.5%

II 会場(茗溪会館)について

現状のままでよい 74.7%

時々変更したほうがよい 20.6%

毎回変更したほうがよい 4.7%

III 会費(5,000円)について

現状のままでよい 73.3%

変更したほうがよい 26.7%

●会費変更(27名)の内訳

安くする 0名

少し高く 17名

高くてよい 10名

合 計 27名

	木曜	金曜	土曜	日曜	合計
9月初旬		1	1		2
9月中旬					0
9月下旬		1		1	2
10月初旬			12	2	14
10月中旬	1	3	3		7
10月下旬		1		1	
11月初旬		1	2		3
11月中旬		3	4		7
11月下旬		1			1
合 計	1	10	23	3	37

懇親会



懇親会の開会挨拶 能代高校東京同窓会副会長

吉田信一氏 旧制15期



旧制15期の吉田でございます。例年、ここでは板倉会長から一言ご挨拶があるわけですが、急病とのこととして、私が代わりを務めさせて頂くことになりました。

同じ故郷を分かちもつ在京のみなさん、本日ははるばる故郷から懐かしいお顔のお偉いさんたちもお見え

になっております。こういう機会でもなければ、なかなか集まって旧交を暖めるチャンスもございません。

今日は一つ日頃の肩書きは一切はずして、大いに飲んで大いに能代弁で語り合おうではありませんか。

簡単ではございますが、これをもって開会の挨拶とさせて頂きます。

乾杯の音頭
藤田成孝氏 旧制1期

藤田成孝氏 旧制1期



ただ今乾杯の音頭取りの指名に預

かりました、旧制1期の藤田でございます。昨年もこの役をご指名頂きましてこの度は2度目ということになります、身に余る光栄と感激しております。

本日は、市長さん始めはるばる能代からお越し頂いたみなさん、本場にありがとございます。本会も年々盛会の一途をたどっております。在京のみなさんもそれぞれの分野で活躍されていらっしゃる現状を耳にいたしまして、たいへんうれしく思っております。この度は、能代高校の先輩として心からお祝い申し上げます。

それでは乾杯の音頭を取らせて頂きます。母校能代高校の発展と市制50周年というおめでたい年にあたる能代市を祝福するとともに、みなさんのこれからの活躍、ご健勝を祈念して、乾杯します。

カンバイ！
どうもありがとうございました。

恩師メッセージ

長岡幸作先生

楽しくご歓談のところ恐縮ですが、



一言お礼の言葉を述べさせて頂きます。私は旧制12期の卒業でございます。なお、在職中は同窓会幹事を務めた関係もあり、在任中にも一度この会のご招待を受けております。この度の重なるご配慮に深く感謝しております。

能代高校には、昭和34年から45年までのおよそ10年間奉職いたしました。その間、体操部が全盛を誇り、全国制覇を続けた当時、昭和35年から38年まで、体操部監督を勤めさせて頂きましたこと、38年には野球部が初めて甲子園出場の偉業を成し遂げたことなどが、一番の思い出となっております。

また、東京方面にも数多くの卒業生を送り出しまして、現在もみなさまのご指導のもとに、大いに頑張っておる模様でございます。今後とも後輩諸子のため、また、お互いの交流のためにも、東京同窓会が益々発

展することを心からお祈りいたします。われわれの地元能代市の同窓会も一応頑張っておりますので、中央からのご指導をよろしくお願いいたします。本日のお招き誠にありがとうございます。

大高芳雄先生



大高でございます。私はきわめて平凡な教師であり、在任中何一つ自慢できるような仕事をした覚えがございません。にもかかわらず、このような立派な席にお招きに預かり、感激の余り適当なお礼の言葉さえ見づかりません。

私は能代工業の出身でございます。当時、能工は能中のいわばライバル校でありましたが、そのライバル校に昭和24年から45年まで、21年間お世話になったわけです。その後能代北高に8年、能代工業高校に6年間

在職いたしました、59年工業高校を最後に退職となりました。その間、あの地域のエリートたちの教育に関わることができましたことは、誠に身に余る光栄でございました。

なんとと言っても記憶に残っているのは、9期生の体操・バレーボール両部の全国制覇、それに38年の野球部の甲子園出場など、運動部の活躍です。私も全くの素人ながら、バスケットボール部と柔道部を委せられたことがありましたが、両部とも東北大に駒を進めることができたことを、今でも誇りに思っております。この8月には、新制7期、9期と相次いで同期会が行われました。その席上でも、懐かしく元気な卒業生に会うことができてまして、実に楽しい一時を過ごさせて頂きましたことをご報告いたします。

見渡すところ、会場もいささか乱戦模様を呈して参りました。まだまだいろいろお話したいことがございますが、どうかこれからも立派な功績を残された教師たちをお招き頂いて、卒業生たちもそれぞれ立派にやっっているぞという姿を見せることができる場所として、この会が益々発展されることを期待いたしました。私の挨拶とさせていただきます。

母校の益々の発展と先生方のご健勝をお祈りいたします

旧4期生 後藤典二 昭和梱包運送(株) 03-3943-0501	新1期生 鈴木良夫 (株)アイスター 03-3456-0223	新11期生 太田勝治 大森太田印刷(有) 03-3765-1779
新11期生 本庄喜代彦 新17期生 本庄瑞彦 株伍陽設計一級建築士事務所 03-3797-1187	新14期生 高田政勝 極東不動産(株) 03-3249-0736	新15期生 武田功 藤沢市立八松小学校 0466-34-3500
新16期生 棚橋東峰 大成建設(株) 03-3348-1111	新21期生 菅原涉 (株)ダイオー・ジャパン 03-3865-1917	新23期生 小河範也 株ウイング・クリエイティブ・エージェンシー 03-3839-5821



戦わん哉

- 一、戦わん哉 時至る
我に敵する何者ぞ
松陵健児 ゆくところ
陣鼓 山河に高なりて
征覇の望み 今ぞ燃え
昂々然の 意気高し
- 二、春逝き 野辺の 花がすみ
消えて 松陵 緑せば
血は湧き立ちて 逆まきて
燃ゆる意気の 北の子は
利剣に光りを 仰ぎしが
遂に 試練の 時至る
- 三、三年 暫の夢追わぬ
ますらたけをの今日の日に
時 乾坤に 移ろいて
聖者の鐘は 今鳴りぬ
健児理想も 華やかに
輝く覇業を なさん哉



校歌(旧)

作詞 藤村 作(文学博士)
作曲 岡野 貞一(東京音楽学校教授)

一、そのかみ遠し 数千年
尽きせぬ流れ 米代の
水に皇国の 新しき
若き生命を汲みてしが
若き生命を汲みてしが



二、み空につづく 日本海
沖より寄する 巨濤の
巖つんざく 勢いに
強き力を 学びつつ
強き力を 学びつつ



三、皇国の相 樽子山
かわらぬ緑 松が枝に
御民我等の 香わしき
清き操を たぐへつつ
清き操を たぐへつつ



四、明治の帝 みさとしの
みむねは深し 能代潟
深きみ恵 身にしめて
ふるへ我が友 健男児
ふるへ我が友 健男児





秋田県立能代高等学校
東京同窓会



旅 愁

更け行く秋の夜 旅の空の
わびしき思いにひとりなやむ
恋しやふるさとをなつかしき父母
夢路にたどるは故郷の家路
更け行く秋の夜 旅の空の
わびしき思いにひとりなやむ

窓うつ嵐に 夢しやぶれ
遥けまかなたに 心まどろ
恋しやふるさとをなつかしき父母
思いに浮かおは杜のこずえ
窓うつ嵐に 夢しやぶれ
遥けまかなたに 心まどろ

